



2020年3月期 第2四半期 決算説明会 決算説明資料

代表取締役 社長執行役員 安田 正介

証券コード：8130
(東証一部、名証一部)

目次

■ 2020年3月期 第2四半期 決算の状況 p.3

- 決算の P O I N T p.4-6
- 連結損益計算書 p.7
- 連結売上高・営業利益・当期純利益推移 p.8
- 連結売上総利益・販管費・営業利益の推移 p.9
- 連結税金等調整前純利益の増減 p.10
- セグメント別売上高と営業利益 p.11
- インテリアセグメント 壁装材の状況 p.12
- インテリアセグメント 床材の状況 p.13
- インテリアセグメント ファブリックの状況 p.14
- 連結貸借対照表 p.15
- 連結キャッシュ・フロー計算書 p.16
- Cash Conversion Cycle (連結) p.17

■ 中期経営計画(2017-2019)「PLG 2019」 取組み状況と課題 p.18

- 機能強化 営業体制 p.19-20
- 機能強化 ロジスティクス p.21-23
- 地理的拡大 海外セグメントの取組み p.24-25
- ESG/CSR p.26
- 資本政策 株主還元実績 p.27

■ 2020年3月期 通期見通し p.28

- 連結業績予想 p.29
- 連結セグメント別業績予想 p.30

■ 将来見通しに関する注意事項

2020年3月期 第2四半期 決算の状況

決算のPOINT

1 売上高 800.6億円：前期比+41.0億円(+5.4%)、計画比+20.6億円(+2.6%)

- ・インテリアセグメント：前期比+52.7億円(+9.3%)
- ・海外セグメント：前期比▲3.0億円(▲3.0%)
- ・エクステリアセグメント：前期比+10.0億円(+13.7%)
- ・照明器具セグメント：前期比▲19.0億円(事業撤退)

2 売上総利益 264.0億円：前期比+28.6億円(+12.2%)、計画比+11.0億円(+4.4%)

- ・インテリアセグメント：前期比+30.4億円(+16.8%)
- ・エクステリアセグメント：前期比+2.3億円(+23.6%)
- ・照明器具セグメント：前期比▲5.9億円(事業撤退)

3 販売費及び一般管理費 218.5億円：前期比+5.0億円(+2.4%)
計画比+2.5億円(+1.2%)

- ・インテリアセグメント：前期比+8.5億円(+5.4%)
- ・照明器具セグメント：前期比▲5.8億円(事業撤退)

4 営業利益 45.4億円：前期比+23.5億円(+107.7%)、計画比+8.4億円(+22.8%)

5 当期純利益 36.3億円：前期比+17.9億円(+97.7%)、計画比+9.3億円(+34.6%)

決算のPOINT

基盤の国内インテリア事業の収益力回復

前中計からの施策実行により大幅に増加してきた販管費は小幅増に。
一方、仕入れコスト・輸送費の上昇・物流設備更新等ここ数年のコストアップ転嫁のため、昨年度実行した商品値上げ浸透により総利益増、営業利益前期比大幅増。

インテリアセグメント

総利益増

	数 量	価 格
壁装材	微 減	上 昇
床材	微 増	一部商品で上昇
ファブリック	小幅増	小幅上昇

販管費増

前期比：新基幹システムによる費用増、値上げ受入れによる物流費増
売上増に伴う販売奨励金増、利益増に伴う業績連動賞与増
計画比：ほぼ計画通り

決算のPOINT

エクステリアセグメント

- ・ 自然災害復旧工事の継続と既存ブロック塀などの新規改修工事の増加
- ・ 利益率の高い施工の受注増による収益向上
- ・ 増税前の駆け込み需要増（住宅リフォーム）

海外セグメント

KOROSEAL社 /米国・カナダ

- ・ フルサービスホテル新築市場の低迷による売上減
- ・ デザインライセンスに関する係争和解費用計上による営業利益減

山月堂（上海） /中国

- ・ 大型マンション向けの壁紙取引減を、中国顧客向け小口取引増によりカバー

Goodrich社 /中国・東南アジア

- ・ 主要市場であるホテル市場低迷による売上減も、前年のマイナス特殊要因がなくなり前期比増

連結損益計算書

(億円、%)

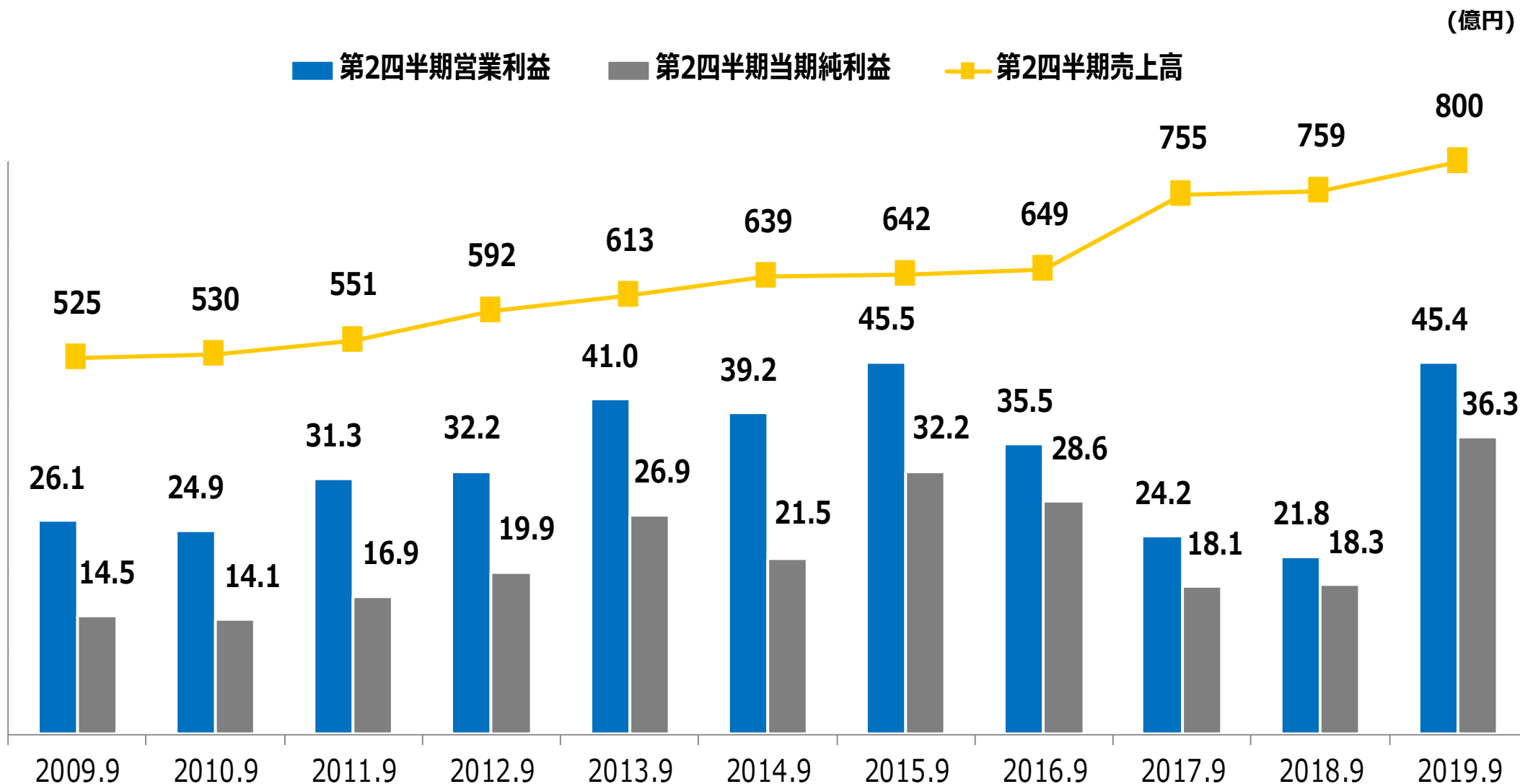
	2019年3月期	2020年3月期				
	第2四半期 実績	第2四半期 期初計画	前期比(%)	第2四半期 実績	前期比(%)	計画比(%)
売上高	759.6	780.0	20.3(2.7%)	800.6	41.0(5.4%)	20.6(2.6%)
売上総利益	235.3	253.0	17.6(7.5%)	264.0	28.6(12.2%)	11.0(4.4%)
販売費及び 一般管理費	213.5	216.0	2.5(1.2%)	218.5	5.0(2.4%)	2.5(1.2%)
営業利益	21.8	37.0	15.1(69.0%)	45.4	23.5(107.7%)	8.4(22.8%)
経常利益	26.5	39.0	12.4(46.7%)	48.9	22.3(84.1%)	9.9(25.5%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	18.3	27.0	8.6(46.8%)	36.3	17.9(97.7%)	9.3(34.6%)
EPS(円) ※	29.09	43.92	14.83(51.0%)	59.47	30.38(104.4%)	15.55(35.4%)
EBITDA	39.6	—	—	68.2	28.5(72.0%)	—

EBITDA = 税引前利益 + 受取利息・支払利息 + 減価償却費 + のれん償却額 + 減損損失

※EPSは潜在株式調整後の株式数にて算出

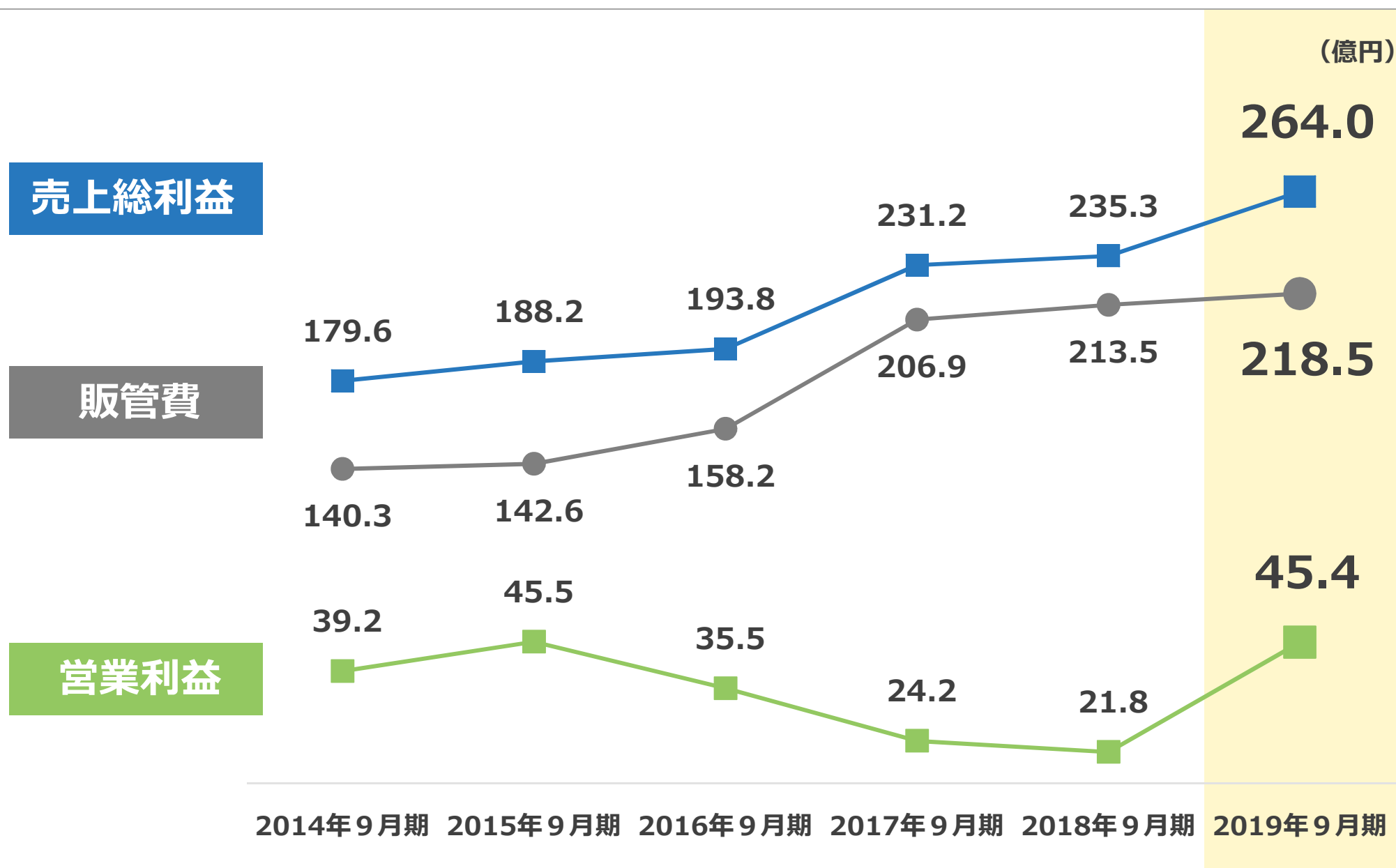
※2019年3月期第2四半期に係る各数値は、暫定的な会計処理に確定の内容を反映させております。

連結売上高・営業利益・当期純利益推移



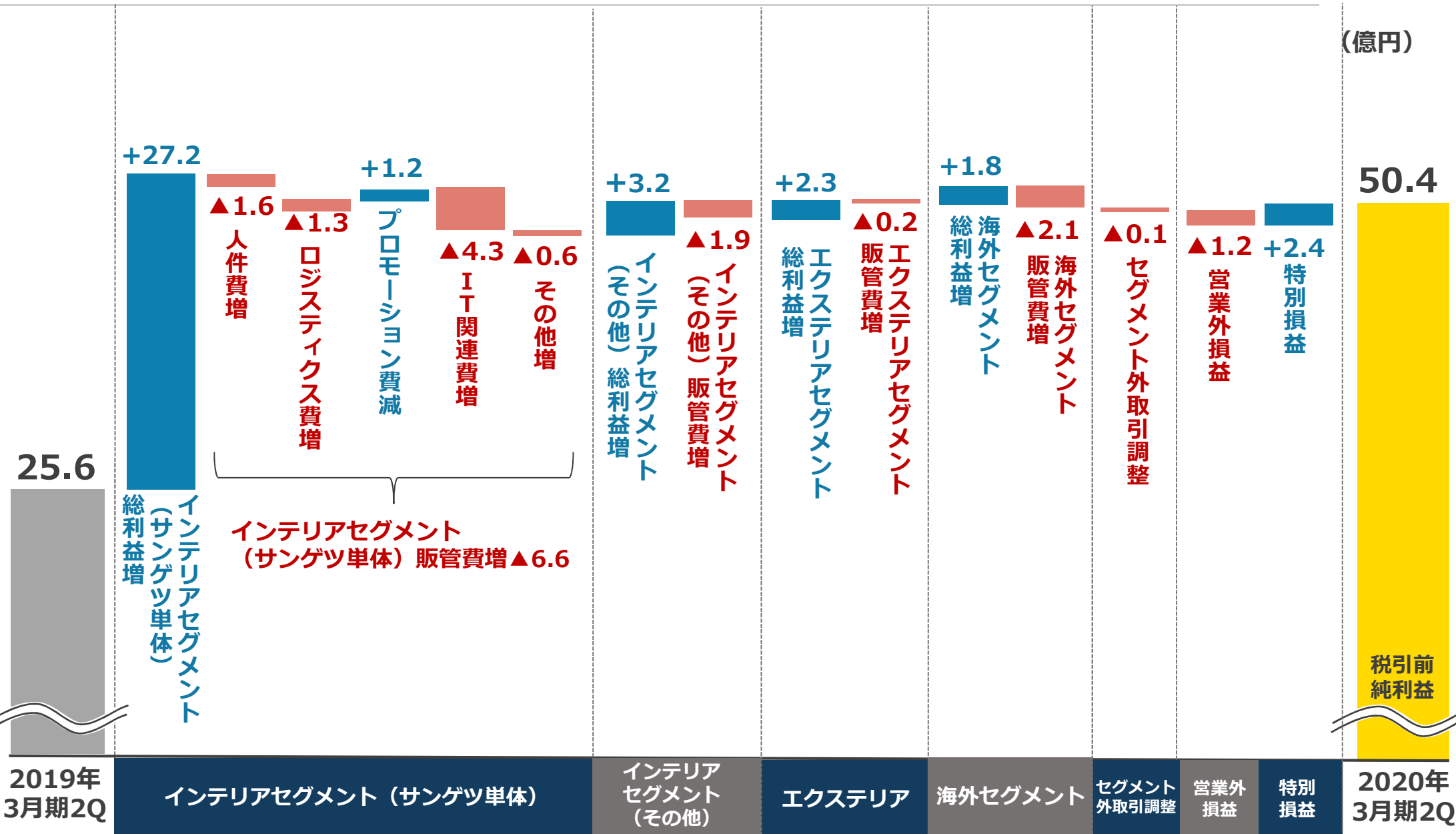
※2018年3月期第2四半期に係る各数値は、暫定的な会計処理に確定の内容を反映させております。

連結売上総利益・販管費・営業利益の推移



連結税金等調整前純利益の増減

(億円)



セグメント別売上高と営業利益

(億円、%)

事業セグメント	2019年3月期		2020年3月期			
	第2四半期 実績	第2四半期 期初計画	第2四半期 実績	構成比	前期比(%)	計画比(%)
インテリアセグメント 売上高	566.2	605.0	618.9	77.3%	52.7(9.3%)	13.9(2.3%)
壁装材	272.7	—	298.8	48.3%	26.0(9.5%)	—
床材	201.3	—	219.0	35.4%	17.7(8.8%)	—
ファブリック	39.2	—	41.2	6.7%	1.9(5.0%)	—
その他(インテリア子会社含)	52.8	—	59.8	9.7%	7.0(13.3%)	—
営業利益	23.7	40.5	45.7	100.5%	21.9(92.6%)	5.2(12.8%)
エクステリアセグメント 売上高	73.0	75.5	83.0	10.4%	10.0(13.7%)	7.5(10.0%)
営業利益	1.8	2.0	3.8	8.4%	2.0(111.8%)	1.8(91.1%)
照明器具セグメント 売上高	19.0	—	—	—	—	—
営業利益	0.0	—	—	—	—	—
海外セグメント 売上高	103.4	102.0	100.3	12.5%	▲3.0(▲3.0%)	▲1.6(▲1.6%)
営業利益	▲3.7	▲3.8	▲4.0	▲8.9%	▲0.2(—)	▲0.2(—)
営業利益(のれん等償却前)※	▲1.0	▲0.4	0.1	0.4%	1.1(—)	0.5(—)
セグメント間取引調整(売上高)	▲2.1	▲2.5	▲1.7	▲0.2%	0.3(—)	0.7(—)
セグメント間取引調整(営業利益)	0.1	▲1.7	▲0.0	▲0.0%	▲0.1(—)	1.6(—)
連結売上高	759.6	780.0	800.6	100%	41.0(5.4%)	20.6(2.6%)
連結営業利益	21.8	37.0	45.4	100%	23.5(107.7%)	8.4(22.8%)

インテリアセグメント 壁装材の状況

壁装材 関連市場の状況 (カッコ内は業績に影響を与える対象期間)

(億円)

新築住宅市場 前期比 (2019年1月~6月)

新設住宅着工戸数	持家	8.6%
	賃貸	▲11.3%
▲0.2%		

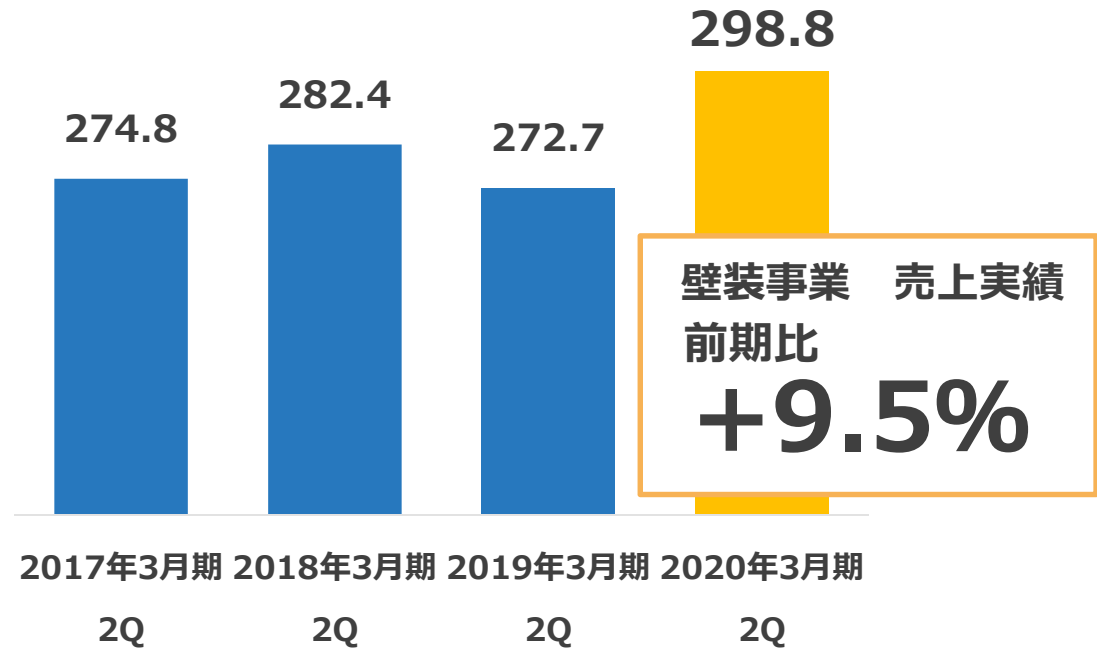
新設住宅着工床面積
+3.2%

住宅リフォーム市場 前期比 (当社推定) (2019年4月~9月)

+5.2%

業界全体の壁装材出荷数量 前期比 (2019年4月~9月)

▲0.5%



- 値上げ浸透による売上総利益増
- 昨年度混乱により低迷した中級品の数量回復。
一方、量産（廉価品）は依然回復途上

インテリアセグメント 床材の状況

床材 関連市場の状況

民間非居住建築物着工床面積 前期比
(使途別,倉庫・工場を除く)

2017年度	2018年度
▲0.7%	▲3.3%

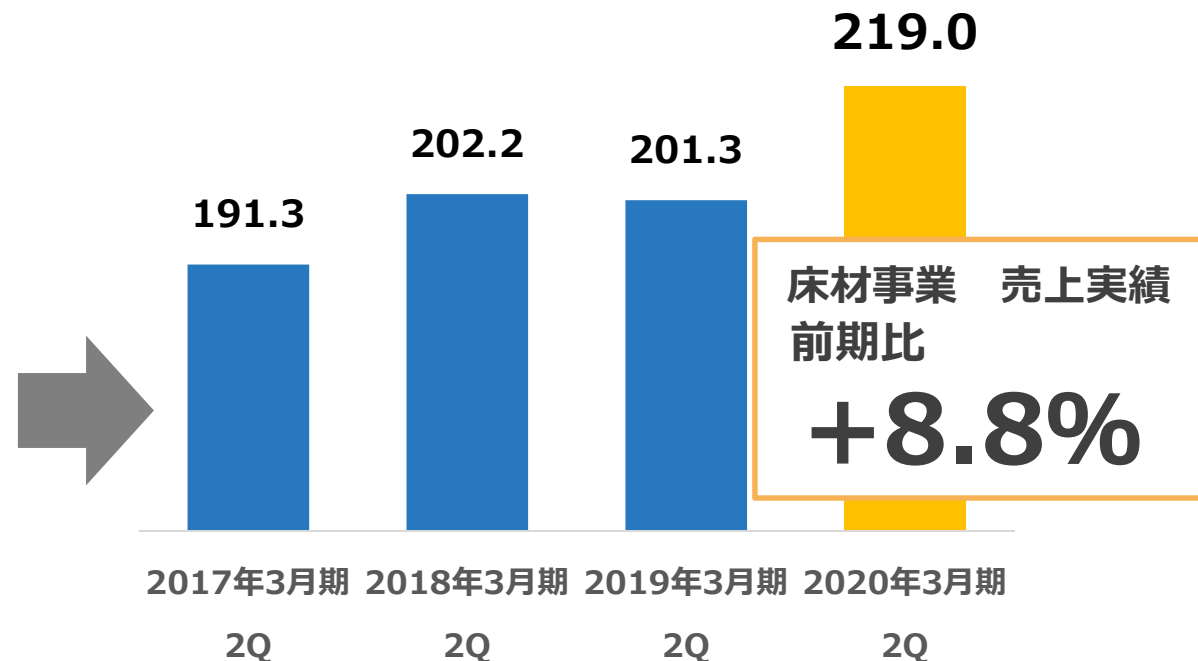
民間非居住建築物着工床面積(用途別) 前期比

	2018年度	2019年4~9月
卸売業、小売業用	▲4.0%	▲21.4%
宿泊業、飲食・サービス業用	▲1.5%	▲8.7%
医療・福祉用	▲12.9%	+20.1%
その他のサービス業用	+11.5%	▲16.1%

業界全体の商材別出荷数量 前期比

タフテッドカーペット	▲4.6% (4-8月)
カーペットタイル	+6.5% (4-8月)
長尺シート	+0.5% (4-9月)
フロアタイル	▲0.3% (4-9月)

(億円)

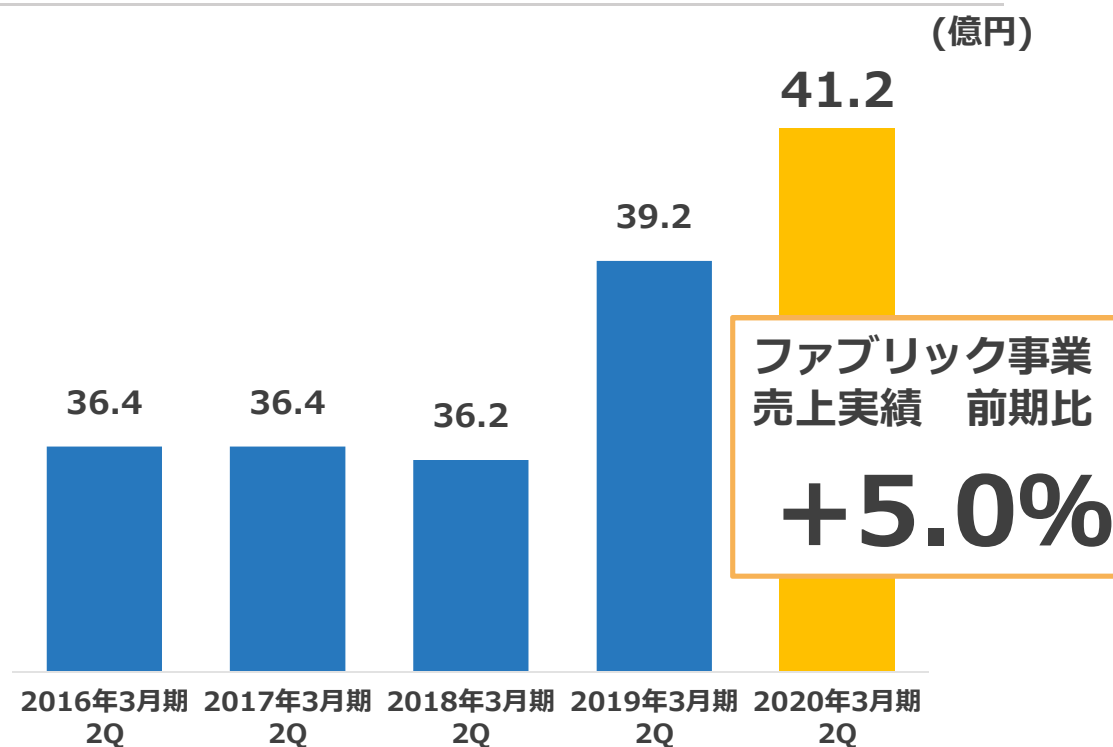


- オフィス・ホテルの新築・改装市場の活況の中、新商品を中心にカーペットタイル伸長
- 商業・賃貸住宅にてフロアタイル伸長
- 非住宅用長尺シートも堅調に推移
- 川上営業体制強化も奏功

インテリアセグメント ファブリックの状況

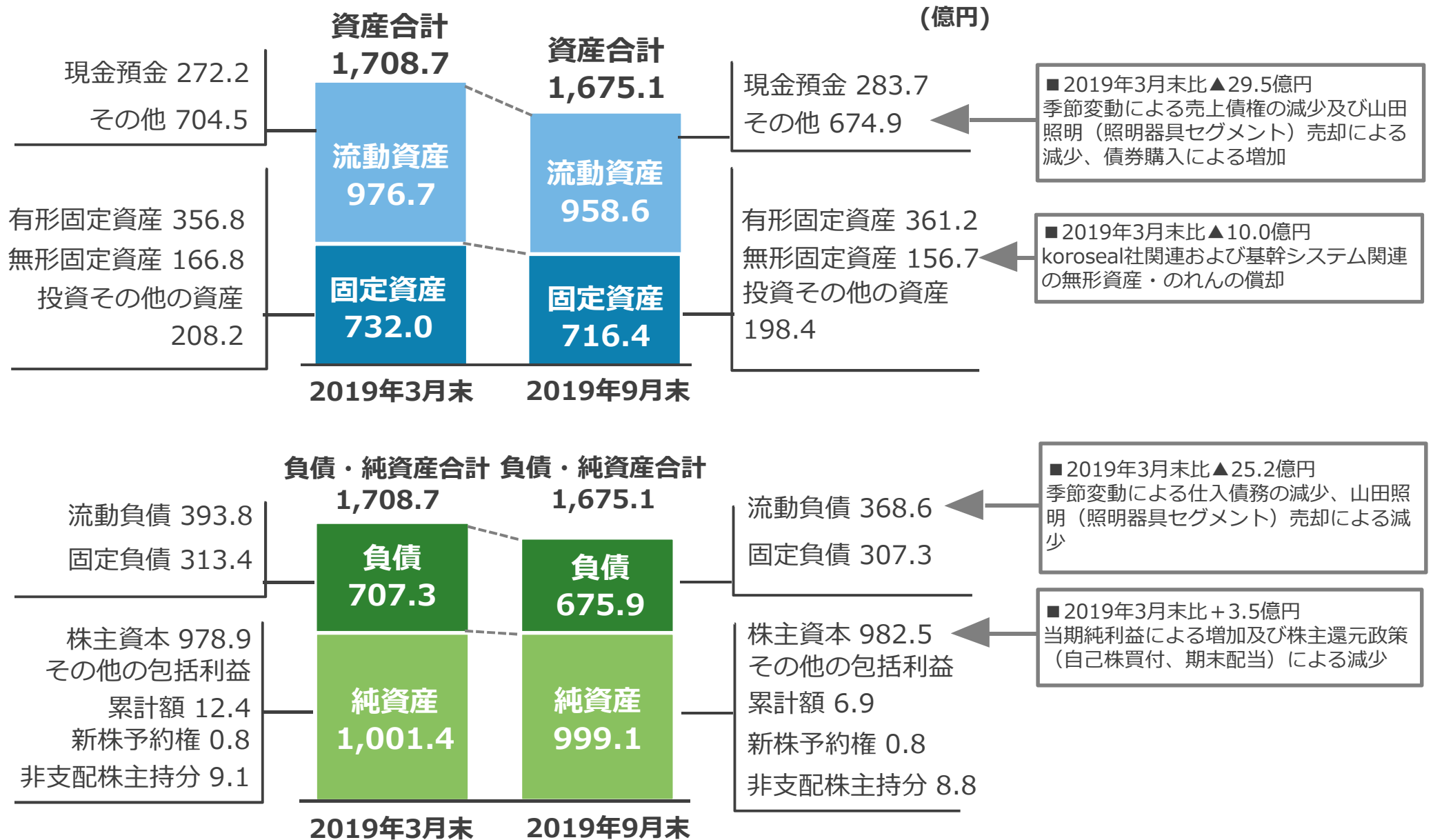


カーテン見本帳「19-22 AC」AC5080



- 価格政策の変更：販売掛率の見直し・統一
- 商品力強化 Simple Order：低価格・ワンプライスによる使いやすさ
STRINGS ・ AC：市場起点のデザイン
- 販売力強化 2017年：カーテン専門販売「サンゲツヴォーヌ設立」
2019年：EC事業「WARDROBE sangetsu」スタート

連結貸借対照表

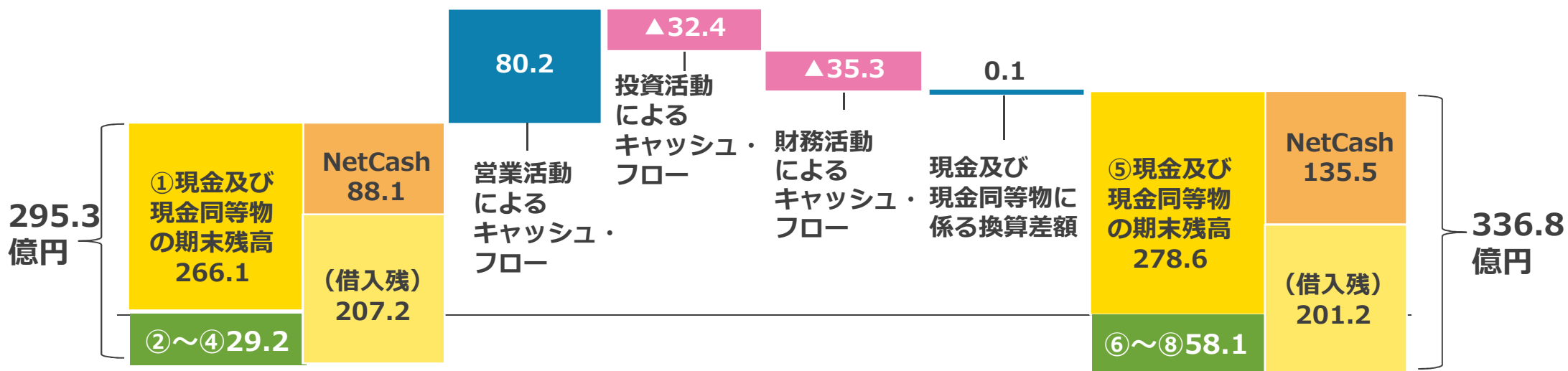


連結キャッシュ・フロー計算書

現金及び現金同等物 12.5億円増加

■ 営業キャッシュ・フロー	+80.2
税金等調整前当期純利益	+50.4
減価償却費・のれん償却費	+18.1
売上債権減少	+44.1

■ 投資キャッシュ・フロー	▲32.4 (億円)
有価証券・投資有価証券増減	▲29.9
有形・無形固定資産取得	▲10.8
貸付金回収	+5.2
■ 財務キャッシュ・フロー	▲35.3
配当金支払	▲17.5
自己株式取得	▲16.4



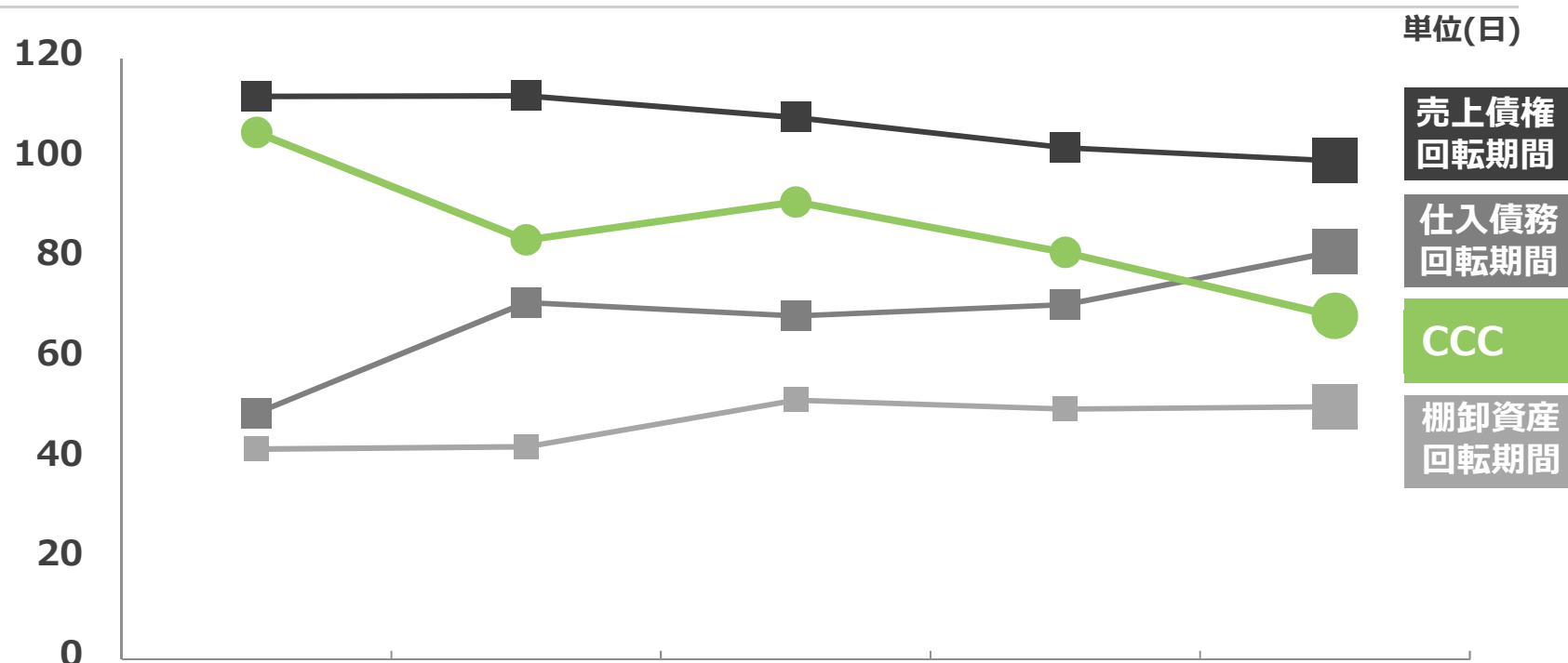
2019年3月末

- ①キャッシュ・フロー計算書記載の現金及び現金同等物 266.1億円
- ②預入期間が3ヶ月を超える定期預金 6.9億円
- ③有価証券 3.0億円
- ④投資有価証券(株式除く) 19.2億円
- ①~④ **295.3億円**

2019年9月末

- ⑤キャッシュ・フロー計算書記載の現金及び現金同等物 278.6億円
- ⑥預入期間が3ヶ月を超える定期預金 5.0億円
- ⑦有価証券 33.7億円
- ⑧投資有価証券(株式除く) 19.3億円
- ⑤~⑧ **336.8億円**

連結Cash Conversion Cycle



	2015年9月末	2016年9月末	2017年9月末	2018年9月末	2019年9月末
売上債権回転期間	112.5	112.6	108.3	102.2	99.6
棚卸資産回転期間	42.0	42.5	51.8	50.0	50.5
仕入債務回転期間	49.2	71.3	68.6	70.9	81.5
CCC	105.3	83.8	91.4	81.3	68.6

※2017年9月末(期間2016年10月1日～2017年9月30日)は、Koroseal社のP/L連結前期間の数値を連結後期間(2017年1月1日～2017年6月30日)の業績と同額と見なして加算し、計算しています。

※2018年9月末(期間2017年10月1日～2018年9月30日)は、Goodrich社のP/L連結前期間の数値を連結後期間(2018年1月1日～2018年6月30日)の業績と同額と見なして加算し、計算しています。

※2017年9月末及び2018年9月末に係る各数値は、暫定的な会計処理に確定の内容を反映させております。

中期経営計画(2017-2019) 「PLG 2019」 取組み状況と課題



機能強化 営業体制・業務効率化

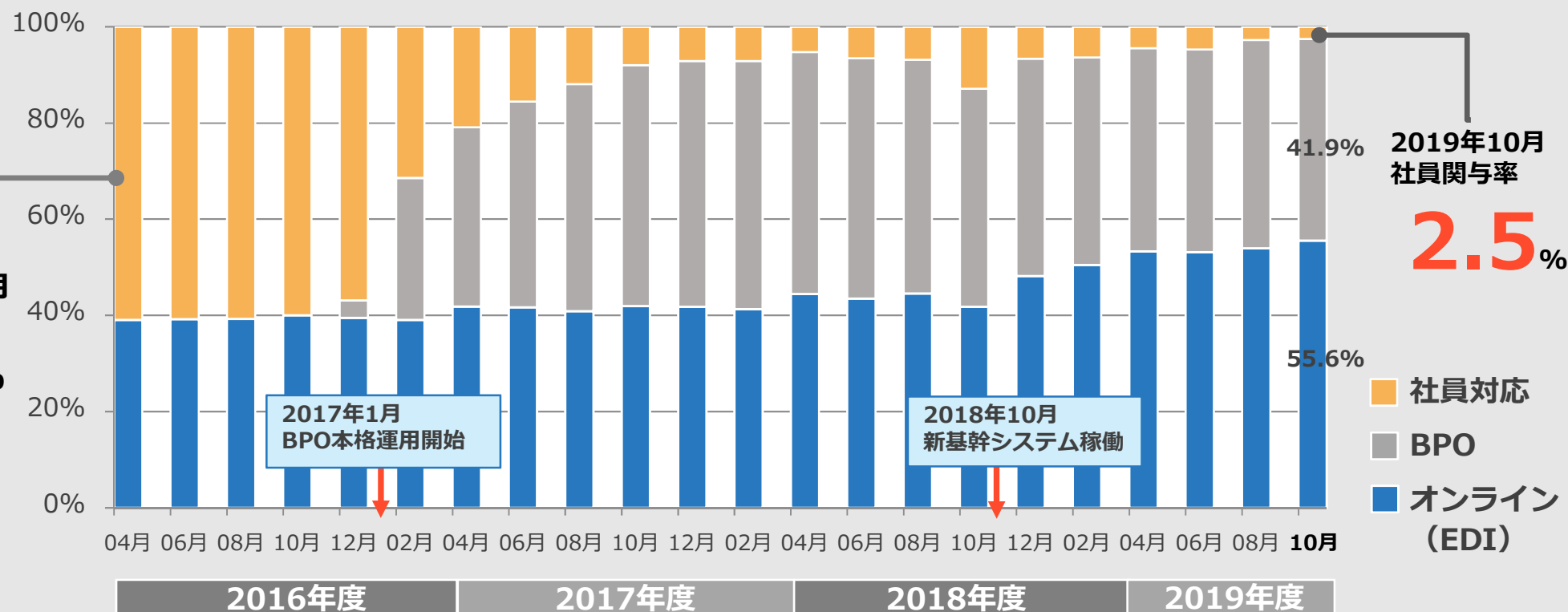
新基幹システム・BPO導入による受注業務の効率化

・社員関与率

2016年4月：60.9% → 2019年10月：2.5% 大幅削減

受注総数に占めるオンライン対応・BPO対応の割合

(単位：%)



機能強化 営業体制

営業体制

- ・従来支社ごとにセントラル化していた営業推進（バックオフィス）を脱セントラル化、営業各課と統合。新営業体制に
- ・それに伴い、営業の個人主体よりチーム制強化へ

地域に根差した営業活動の強化

- ・中国四国支社：
事務所・ショールームを岡山から広島市中心街に移転（7月）



広島ショールーム・事務所

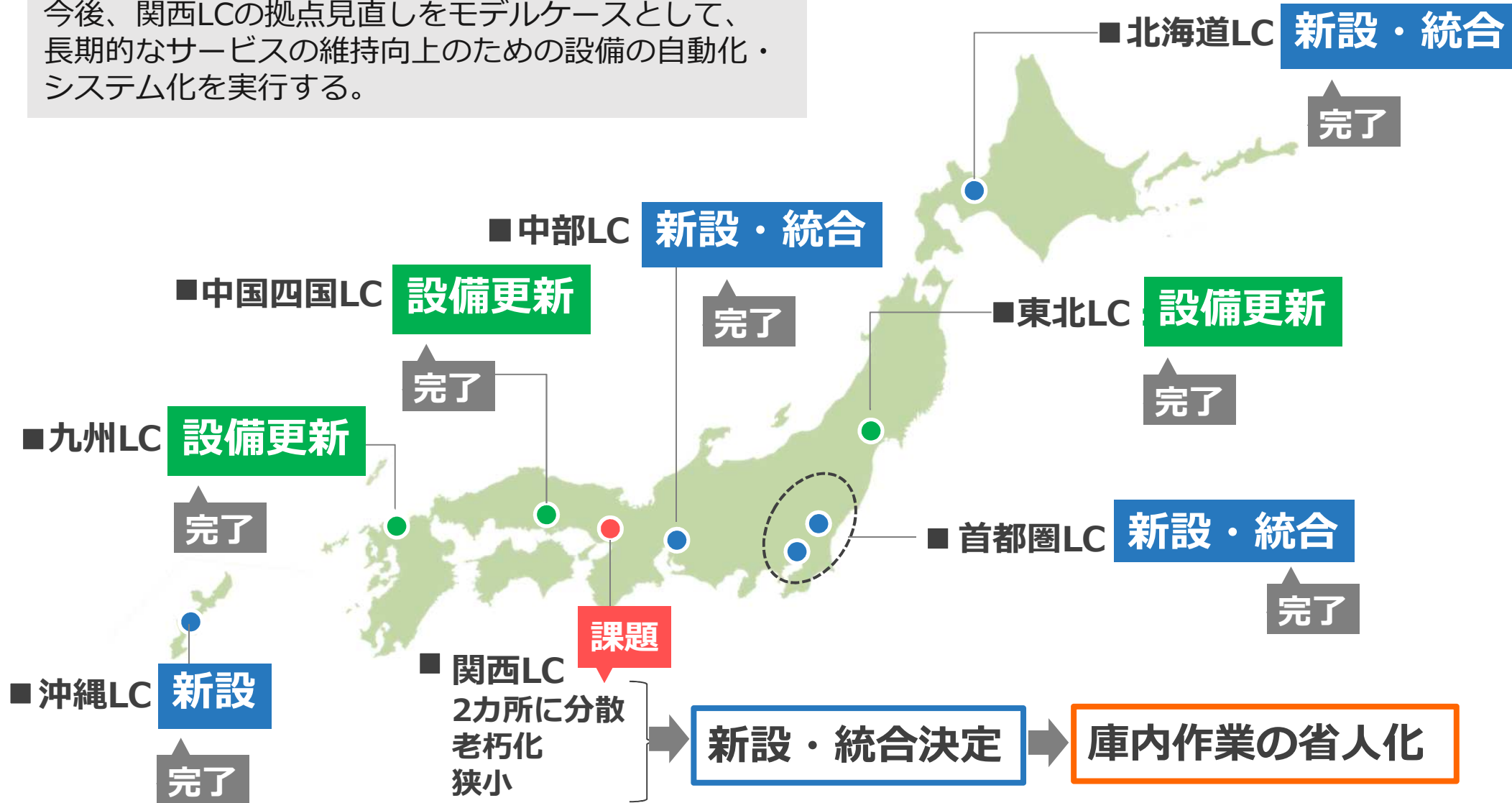


機能強化 ロジスティクス

拠点配置

持続性・効率化・拡張可能性に配慮した拠点配置。
今後、関西LCの拠点見直しをモデルケースとして、
長期的なサービスの維持向上のための設備の自動化・
システム化を実行する。

※LC:ロジスティクスセンター



新関西ロジスティクスセンター概要

- ・ 物件名称:三井不動産ロジスティクスパーク大阪 I
- ・ 建物賃貸人 : 三井不動産株式会社
- ・ 物件所在地 : 大阪府大阪市淀川区加島
- ・ 建物構造 : S造 (予定)、地上4階建
- ・ 仕様 : 床荷重1.5 t / m²
梁下有効高5.5m (最大7.1m)
- ・ 床面積 : 約13,000坪

倉庫坪数全国合計
66,000坪



71,400坪
(東京ドーム5個分)

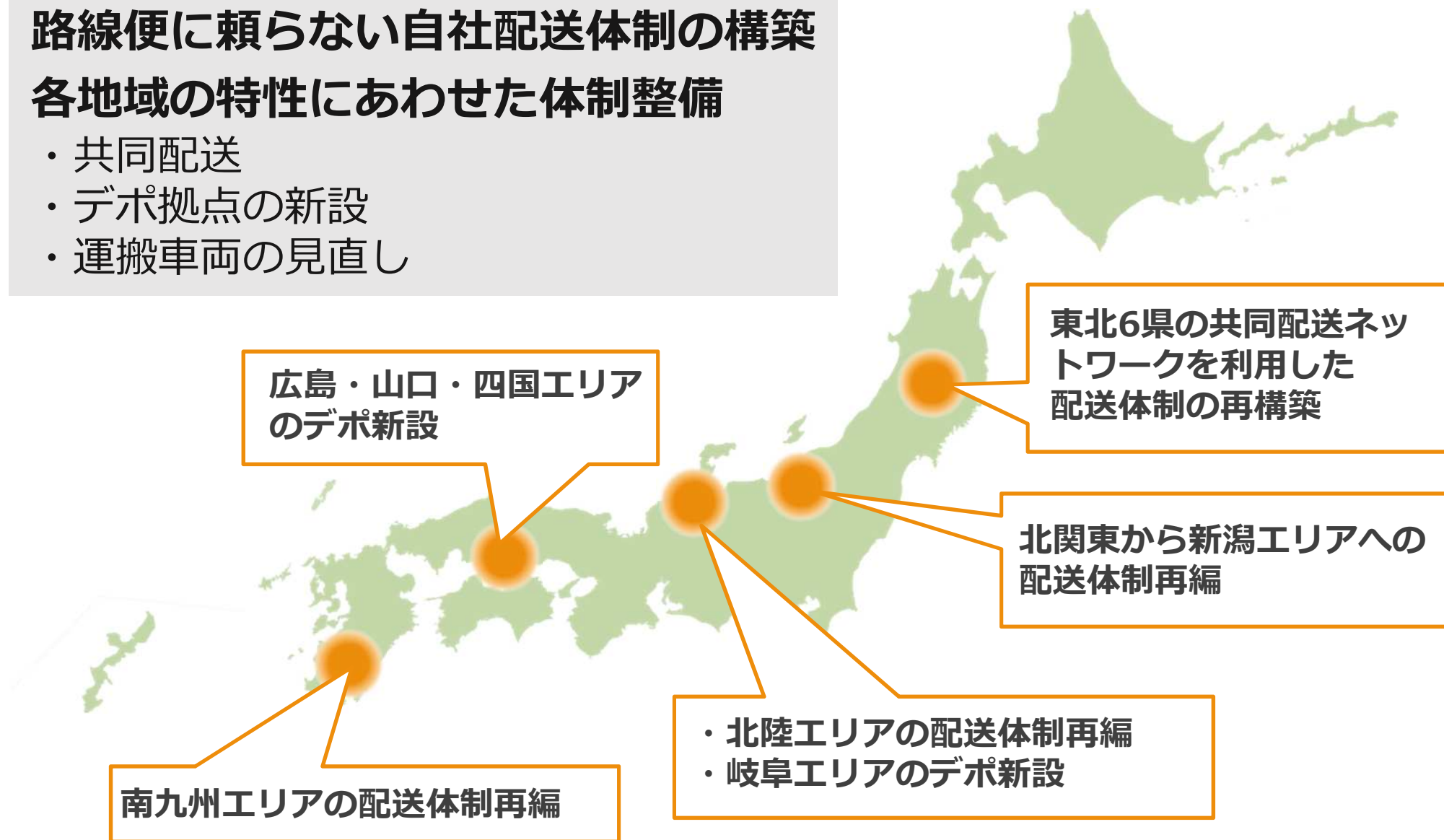
物流設備内の商品搬送、カット等加工の
機械化を検討中。

西日本を中心とした基幹物流拠点として
2021年1月稼働を目指す。



路線便に頼らない自社配送体制の構築 各地域の特性にあわせた体制整備

- ・ 共同配送
- ・ デポ拠点の新設
- ・ 運搬車両の見直し



地理的拡大 海外セグメントの取組み

■ 米国 抜本的見直し・改善策を実行中

KOROSEAL 社

■ 7月1日 新CEO就任

■ 壁紙生産設備 新2ラインの生産開始（11月+1月）

- ・プリント、（フィルム・裏打紙の）貼合わせ、エンボスの一貫体制 ➡ ロスの削減
- ・多色刷り（7色） ➡ より高度なデザイン
- ・高生産スピード ➡ 生産量アップ



Louisville工場の新壁紙生産設備

■ 自前デザイナーの拡充（増員・強化）

■ 商品見直し（全商品）、短期+中長期計画

■ 営業力強化（増員・入換）

■ Branding（Korosealブランドの前面化）

地理的拡大 海外セグメントの取組み

中国・東南アジア 中国・東南アジアでの事業体制の見直し

Goodrich 社/山月堂（上海）装饰有限公司

従来

Goodrich社

- ・米欧品を中心とした商品取り扱い
- ・営業員一人当たり効率性/低
- ・設計・デザイナーに強み

山月堂（上海）

- ・サンゲツ商品中心
- ・営業員一人当たり効率性/高



Goodrich 新見本帳

中国 : 山月堂（上海）社員のGoodrich Chinaへの転籍、兼任

東南アジア : ・商品開発担当はじめ幹部社員の若返り
・小口取引での販売拡大のための在庫商品を拡充

商品 : ・新見本帳の発売、マナー統一によるブランディング促進
・地域特性（デザイン・関税）に応じた商品構成見直し
（サンゲツ仕入先の活用）

ガバナンス強化

コーポレートガバナンスの透明性の維持・向上

- ・株主総会
業務執行取締役2名+監査等委員取締役5名の選任
- ・個人株主さま向け 会社説明会実施（東京）
- ・機関投資家さま向け 東京ロジセンター見学会



株主さま向け会社説明会



東京ロジセンター見学会

資本政策 株主還元実績

自己株式取得の状況		
取得期間	取得株式総数	取得総額
2019年4月01日～2019年6月21日	48.79万株	10.0億円
2019年8月05日～2019年9月30日	32.32万株	6.3億円
合計	81.11万株	16.3億円

自己株式消却の状況		
消却日	消却株式総数	消却後の発行済株式総数
2019年7月31日	60万株	6,225万株

中間配当金		
基準日	一株当たり配当額	配当金総額
2019年9月30日	28.50円	17.3億円

株主還元総額
33.6億円

2020年3月期 通期見通し

連結業績予想 – 期初計画から変更無し

単位(億円、%)

	2019年3月期	2020年3月期		
	通期実績	通期計画	上期実績	対通期 計画進捗率
売上高	1,604.2	1,630.0	800.6	49.1%
売上総利益	507.2	525.0	264.0	50.3%
販売費及び 一般管理費	448.2	445.0	218.5	49.1%
営業利益	58.9	80.0	45.4	56.8%
経常利益	66.9	83.0	48.9	59.0%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	35.7	57.0	36.3	63.8%

連結セグメント別業績計画

－ 期初計画から変更無し

単位(億円、%)

		2019年3月期	2020年3月期		
		通期実績	通期計画	上期実績	対通期計画 進捗率
インテリア	売上高	1,195.0	1,265.0	618.9	48.9%
	営業利益	61.7	85.0	45.7	53.8%
エクステリア	売上高	161.2	155.0	83.0	53.6%
	営業利益	5.9	4.0	3.8	95.6%
照明器具	売上高	42.2	－	－	－
	営業利益	0.6	－	－	－
海外	売上高	209.2	215.0	100.3	46.7%
	営業利益	▲9.6	▲7.2	▲4.0	－
	営業利益 (のれん等償却前)※	▲2.8	▲0.3	0.1	－
セグメント 間取引調整	売上高	▲3.5	▲5.0	▲1.7	－
	営業利益	0.2	▲1.8	▲0.0	－
合計	売上高	1,604.2	1,630.0	800.6	49.1%
	営業利益	58.9	80.0	45.4	56.8%

※営業利益(のれん等償却前) = 子会社取得に伴うのれん・無形資産・有形固定資産償却費を除いた営業利益

将来見通しに関する注意事項

本資料には当社の「将来に関する記述に該当する情報」が記載されています。本資料における記述のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、将来予測に関する記述に該当します。

これら将来予測に関する記述は、現在入手可能な情報に鑑みてなされた当社の仮定および判断に基づくものであり、これには既知または未知のリスクおよび不確実性ならびにその他の要因が内在しており、それらの要因による影響を受ける恐れがあります。

Joy of Design